



2026年3月13日

「鉄道的安全輸送の確保について（指示）」に対して講じた改善措置の
2026年2月末日までの実施状況の報告について

2025年3月31日に受領した「鉄道的安全輸送の確保について（指示）」に対して講じた措置等および「安全に関する不適切な事象への対応の報告について」（2025年7月31日付）の4件の事象に対して講じた措置の進捗状況の確認表を作成し、定期的に報告することとしております。

このたび、2026年2月末日までに講じた改善措置の進捗について、実施状況の確認表として添付書類により取りまとめ、以下の通り北海道運輸局へ報告しました。

- ・「鉄道的安全輸送の確保について（指示）」に対して講じた改善措置の
2026年2月末日実施状況報告

「鉄道の安全輸送の確保について(指示)」に対して講じた改善措置の2026年2月末日実施状況報告

区分	改善報告書の取組	取組み概要 (請る措置抜粋)	2025年12月1日～2026年2月28日までの進捗状況 (最終的な取組み内容・実施回数等、予定含む)	2025年度												2026年度			
				第1四半期 1 2 3 4	第2四半期 5 6 7 8	第3四半期 9 10 11 12	第4四半期 1 2 3	第1四半期 4 5 6	第2四半期 7 8 9	第3四半期 10 11 12	第4四半期 1 2 3								
コンプライアンス教育	車庫部 検修社員等の教育訓練方針への追加	車庫系統では改めて取組みを精査した結果、車庫部が発出している「検修社員等の教育訓練方針」には「報告から始まる安全」の教育内容が含まれていなかったこと、および一部の集合研修で事故と事象の報告制度の講義を行ったものの「報告から始まる安全」に関する講義は行われていなかったことが分かった。このことから今後は、「検修社員等の教育訓練方針」に「報告から始まる安全」の教育を加え、現場検修で毎月実施している検修社員等の教育訓練の年、年ごとに「報告から始まる安全」の教育を追加することにした。また、階層別の集合研修(フレッシュ検修分科、車両基礎科、車両管理技術科、車両技術マスター科、新任管理資料、乗務管理資料)において「報告から始まる安全」に関する講義を追加することにした。	2025年12月25日付で指導文書「報告から始まる安全」の教育実施について」を发出 車庫部作成の資料を用いて2月末日までに教育することを指示	●車庫管理技術科前期 ●車庫管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●車庫管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期													
		階層別集合研修への追加	今年度終了済み	完了 継続実施	●乗務管理技術科前期 ●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期													
	電気部 10条教育・電気関係社員安全講習会	今年度実施済み	完了 継続実施	●乗務管理技術科前期 ●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期
		請負会社への安全意識の向上に寄与する教育	今年度実施済み	完了 継続実施	●乗務管理技術科前期 ●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期													
		新任管理者研修及び新任主任研修	今年度実施済み	完了 継続実施	●乗務管理技術科前期 ●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期													
	安全研修	安全研修(第3期)実施中(2026年度末まで)	現在実施している安全研修(第3期)において、砂川駅構内で発生した事象を用いて、社員の安全を守るためのルール遵守及び「ありのままに報告すること」の重要性を教育することとしました。	受講対象者約1,500名のうち1,280名(約85%)が受講済み(2026年2月末現在) G線社向け安全研修(第3期)の対象となるG線社9社へ2026年6月に開講することをお知らせし、入所予定人数を調査中。 引き続き研修のカリキュラムを検討している。PPT作成と映像教材の編集内容の検討を進めている。	●乗務管理技術科前期 ●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期													
安全推進部 安全研修(第4期)(計画～開始)		今後検討している安全研修(第4期)(2027年度から開始予定)におきましても、コンプライアンス及び安全意識の再徹底を図るカリキュラムを充実させてまいります。	これまでの安全研修をプロデュースしてきた会社(トータルメディア開発研究所・TM社)とともに、安全研修(第4期)の基本方針を策定し、これに基づき具体的な内容や予算を計画。 TM社との打ち合わせ 5回(2025/12/4・25・2026/1/19・2/6・17) TM社と安全研修(第4期)企画コンサルティング契約 2026/2/1締結	●乗務管理技術科前期 ●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期
報告から始まる安全	アンケート結果の集約と実施内容の検討	今年度の「安全再発防止」の取組みにおいて、「報告から始まる安全」の取組みを徹底させる目的で、その意義や重要性を職場単位で教育する取組みを行っています。その取組みにおいて、「報告から始まる安全」の取組みについて、社員の理解や思いを問うアンケートを実施し、現在、その意見を集約しているところです。これらの意見を踏まえ、「報告から始まる安全」の社員への浸透度を高める持続的な実施方法など、事故・事象報告に対する改善策について検討してまいります。	アンケート結果に基づき、「報告から始まる安全」の考え方をより一層浸透させるために ①次期安全計画における重点施策への位置づけ ②「報告から始まる安全」リフレットの全面改訂及び「安全研修(第4期)」における教育 ③管理者層への「現場の心理的安全性」に関する教育 ④「報告がどう」一言運動の展開 ⑤事象報告のシステム化 ⑥報告に対する心理的インセンティブの設定 これらの実施に向けて検討すること、2025年度第18回安全推進委員会(2025年12月26日)で審議して承認された。 「報告から始まる安全」リフレットの全面改訂(2026年6月)に向けて、安全推進部にてたたき台をもとに議論をおこない、会議体にて諮るための準備を進めている。 「現場の心理的安全性」に関する教育について、コンサルティング会社に相談中。 現場において業務負担となっている事象報告について、事象報告システム(アプリ)の開発を行い、業務の効率化につなげる。試作アプリはほぼ完成し、今年度中の先行開始に向けた準備中。	●乗務管理技術科前期 ●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	
	安全意識醸成	安全推進部 旅行	今年度の「安全再発防止」の取組みにおいて、「報告から始まる安全」の取組みを徹底させる目的で、その意義や重要性を職場単位で教育する取組みを行っています。その取組みにおいて、「報告から始まる安全」の取組みについて、社員の理解や思いを問うアンケートを実施し、現在、その意見を集約しているところです。これらの意見を踏まえ、「報告から始まる安全」の社員への浸透度を高める持続的な実施方法など、事故・事象報告に対する改善策について検討してまいります。	●乗務管理技術科前期 ●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期
指令員に対する教育	JR東日本研修施設の視察	教育カリキュラムを充実させることを目的として、指令員の指導に携わる社員が他社の安全研修施設の視察により教育方法を学び、自園所における職場内教育において効果的な指導を実施することとしました。	完了	●乗務管理技術科前期 ●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	
	資料作成	完了	●乗務管理技術科前期 ●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	
	指導訓練による指令員教育	毎月行っている教育訓練の内、年一度、2024年11月16日に函館線一石台間において脱線した列車の脱線原因を踏まえ、乗務員や三河鉄橋駅などの過去の事故事例を踏まえ、乗務員生時における運転士の報告から最悪の事態を想起するような教育を行い、継続的に指令員の異常時対応力の向上を図っていくこととしました。	完了 継続実施	●乗務管理技術科前期 ●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期
	全道輸送指導担当者会議(年4回 6・9・12・3月本社開催・TV)	全道輸送指導担当者会議開催(12/4, 3/19予定)	完了 継続実施	●乗務管理技術科前期 ●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期
指導者層のフォローの取組	車庫部 外部機関等を活用した現場指導者層のフォロー	現場の指導者層を集めた教育訓練担当者会議で、指導者間で、若い世代への伝わり、教育方法等に対する悩みを共有してきましたが、今後はこれらの悩みや課題を解決し、指導力向上につなげるように、外部機関等を活用して指導者層をフォローする取組みを行います。	●乗務管理技術科前期 ●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	●乗務管理技術科後期 ●乗務管理資料 ●乗務基礎科前期	

「鉄道の安全輸送の確保について(指示)」に対して講じた改善措置の2026年2月末日実施状況報告

区分	改善報告書の取組	取組み概要 (講ずる措置抜粋)	2025年度												2026年度													
			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
安全意識 醸成	課題め対話 会社幹部	6月以降の課題め対話においては、会社幹部からコンプライアンス及び安全意識について、現場社員に対して直接メッセージを伝える機会とすること、安全の取組みに対して社員がどのような思いを抱いているか確認すること、共通のテーマを設定し、安全意識の醸成につなげる取組みとしております。	[12月]奥津軽いまべつ駅(12/19)、音威子府駅(12/26) [1月]駒走駅(1/8)、奥津軽いまべつ駅(2回目)(1/28) [2月]東方駅(2/25)、森駅(2/26) 2025.2月28日現在 47箇所/60箇所 ※南千歳駅は千歳駅、稚内駅は南稚内駅に含む																									
			[12月]札幌運転所(2回目)(12/9) [1月]苫小牧運転所(1/22)、旭川車庫所(1/29) 2025.2月28日現在 17箇所/17箇所																									
			[12月]岩見沢保線所(12/19)、岩保岩見沢保線管理室(12/19)、岩保滝川保線管理室(12/19)、函保大沼保線管理室(12/22)、室蘭支小笠原保線管理室(12/23) [1月]札幌構造物検査センター(1/8)、旭川設備所(1/19)、旭川構造物検査センター(1/21)、函館工機津軽管理室(1/29) [2月]函館工本古内管理室(2/9)、帯広保線所(2回目)(2/12)、 2025.2月28日現在 51箇所/56箇所																									
			[12月]旭川電氣所(2回目)(12/12)、旭電名寄派出所(2回目)(12/12)、旭電北見派出所(12/12) [1月]旭電北見派出所(2回目)(1/9)、札幌電気所(2回目)(1/23)、函館電機津軽派出所(2回目)(1/28) 2025.2月28日現在 16箇所/17箇所																									
			一部試行的に少人数課題め対話を実施、本音を引き出せるかなどの効果を確認していく。 フードバンクとして課題め対話で出た意見と現場幹部からの回答は、定期的に社内報「かかば」で紹介、初めて取り組みとして、社員から安全に関する多くの意見をもたせたことを受けて、電子掲示板に掲載した(12/23)。																									
ルール	作業責任者と列車見張員による相互確認 工務部	作業等の実施区間、可搬式特殊発号光機種の設置区間、その撤去消灯時期の相互確認	作業責任者は、作業等を実施する区間に加え、可搬式特殊発号機種を配置する区間、及び撤去消灯時期が適切であるかについて、列車見張員と相互に確認することとします。																									
		作業計画表の確保所送付・確認	今後は、プロセス管理とは別に、保線管理室は作成した「作業計画表」を確保所へ送付し、確保所は計画されている作業に対して「作業計画表」が作成されていることを確認することとしました。	完了																								
		安全に関するルールの見直し	安全推進部: ・実績なし	各系統にまたがる横断ルール等は、安全推進部にて必要の横断、主管制と調整を実施																								
安全推進部 駅業務部 工務部 電氣部	ハード対策によれないかの検討、安全を担保したうえで実効性の高いルールや手続きへの見直しの可否の検討	・工務関係脱車事故防止マニュアル(通達の改正を行い、解説の充実化と表記の見直しを行ったほか、取扱いや保安体制毎に構成の変更を行い、教育資料等で活用できるように再編しました。 ・その他の安全に関するルールや手続きについては、まずはハード対策を検討すること、それらによらない場合には安全を担保したうえで、実効性の高いルールや手続きの見直しの可否を改めて、引き続き検討を行います。なお、その際は、関係するルールや手続きに抵触が生じないよう、系統間における調整や整合性の確認を安全推進部が行います。	駅業務: ・駅業務指導E25-0031号「大規模雪害時における駅での列車見張員配置作業一見直し(試行について)」を12月25日に発出した。 ・列車見張員が見張業務に専念せず作業を行っている事象が多数発生していることと踏まえ、大規模雪害時や遅延駅以外でも、列車を進入させない措置をとることで列車見張員を配置せず作業を行うことについて、検討を行うこととした。																									
		電氣: ・ディスプレイ結果を踏まえ、現在見直し可能なルールを検討している。 ・通勤から数分作業時の列車見張員について、作業を中断からの外割から実施する場合は省略可とするについて検討中。	●現場長等とのディスカッション(安全推進委員会専門部会) ●関係に関するルールの周知																									
		工務: ・本社及び保線所管理助役を主なメンバーとしたワーキンググループでの打合せを実施し、現行ルールの検証と改善可否についての検討を実施した。(第5回:12/9実施、第6回:2/24実施) 2025/11/18に発生した「室蘭線在一路駅前 列車見張員が見張業務に専念せずに踏切除雪を実施していた事象」での職場内議論の結果を反映し、以下のルールの見直しを実施した。 -工管第E25-0135号「同一の列車間合いにおいて再度、線路に立ち入る場合の列車運転状況確認(通達)」を発出し、条件を限定した上で、線路再立ち入り時の列車運転状況確認を簡略化する取り扱いを定めた。(1/27) -工管第E25-0048号「室蘭線における線路閉鎖工事車を複数駅間一括発進する取扱いの試行について(通達)」を発出し、線路閉鎖工事手続きの簡素化・効率化、および着手承認・終了通告の負担軽減を図った。(1/30) ・2026/1/13に発生した「根室線新吉野駅構内において列車見張員を配置せずに旅客通達の調査を行った事象」を受け、全工事管理員を対象に保安ルールの認識状況を調査する。併せて、これまでの安全ハットロールでの指導事項を踏まえ、簡潔や速い対応しやすいルールをアンケートで抽出し、その結果をもとに次年度の重点教育内容やルール見直しに活用する。(2/5~2/28)	●マニュアル(通達)改正 ●「安全に係るルールや手続き」の検証ワーキンググループの設置(工務部) 打ち合わせを実施(2025年度計6回)																									

